

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会（久野脇区）
- 2 会議日時 令和4年11月11日（金）午後7時から午後8時25分まで
- 3 開催場所 久野脇コミュニティ防災センター
- 4 出席した者の氏名
 - （1）久野脇区 参加住民 19名
 - （2）執行機関 町長 藺田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉
（出席課長） 情報政策課長 坂下、教育総務課長 平松、
税務住民課長 竹野
（書記・庶務）健康福祉課室長 森下、主幹 鈴木、税務住民課主幹 土屋、
（その他職員）総務課長 山田
- 5 内容
 - （1）行政からの報告（町長・副町長・教育長）
 - ・これからの取組みと今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した行政サービスの向上
 - ・町の教育方針について
 - （2）町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - （1）事前質問に対する回答等
 - （問） 最近の荒茶単価の低迷、後継者不足による荒廃茶園が目立つ中、町は様々な茶業振興策を取っているが、今後の対応や生産農家の向かう方向性などを検討するプロジェクトチームの設置を要望する。また、検討内容の公表を望む。
 - （答） 令和3年度から川根本町農業農村振興対策委員会を設置し、早急に検討しています。
生産農家の方向性としては、小売りの展開、流通販売先との連携強化、有

機碾茶の取り組みが考えられます。

(問) 学校再編について、町が考えている最終的な体制はどのように考えているか。

(答) 2校の再編により、小規模と中規模という規模の異なるそれぞれの学校の特色ある教育を充実させ、川根本町の魅力の一つとして発信し、移住定住の一層の促進を図っていきます。

(問) 「日本一美しいむら」「農林水産大臣賞の茶」等をもっともっとPRして来町者を増やすため、観光事業を強化してほしい。

(答) 久野脇地区で展開されているガイドツアーなど各地区の資源を活かした活動と連携し、川根本町の魅力の発信・誘客を図っていきます。

(町長) 久野脇地区はいろいろな活動を行ってもらっています。私自身もいろいろな思いがあり、様々に仕掛けられていけたらと思っていますので、引き続き活動をお願いします。

(問) 音戯の郷、茶茗館、ウッドハウスおろくぼ等の赤字施設の今後の運営方針を早急に決定し、民間への委託や処分を含めた対応が必要と思うが。

(答) 現在、行財政推進委員会では、音戯の郷、茶茗館、資料館やまびこの3施設について今後の運営方針について協議を進めています。

各施設のテーマや運営方法等を含め、抜本的なリニューアルの検討を進めていきます。

(町長) 学校の統廃合も含め、一つずつ施設の整理をしっかりと進めていきます。

(問) 近年、遊休化した農地、山林内に繁殖する雑草、荒れ放題の竹林など野生動物が潜む場所がどこにでも存在し、野生動物が田畑へ出没するようになった。農作物の被害防止のための獣害対策として、人里近くの野生動物の隠れ場所をなくす対策を町として実施してほしい。

(答) 被害防除への補助、有害鳥獣捕獲を継続するとともに、里山林も含めた森林整備の推進など効果的な野生鳥獣害防止対策を講じていきます。

(問) 少子高齢化が進む川根本町は、地価が安く、放棄農地、空き家、遊休地等の面積が広がっています。そのような土地を利用して、都会では新設が難し

くなっている特別養護老人ホーム誘致を進めたら良いと思うが。

(答) 現状、そのようなご要望はありませんが、今後、誘致ということになれば、連携自治体、県等と連携し、慎重に検討していきます。

(2) 意見交換

(住民) ①茶業のことについて

川根本町農林農村振興対策委員会の構成メンバーを教えて欲しい。今までのようにリーダーが引っ張っていくというお茶の品質のやり方は限界にきていると思う。これからは基盤整備を行っていかないといけない。抜本的な方法でやっていかないとならないが、農家・茶商・商工会関係者などで議論してもらい、町がプロジェクトチームをつくり、今後の茶業の指針をだしてもらいたい。

②財政のことについて、自己財源のほとんどが総務費（人件費等）と同額である。事業をやる際は依存財源でやることになると思う。赤字施設にお金をかける時代ではないと思う。町有施設のリニューアルという説明もあったが、全国的に見ても中途半端な施設は殆どとん挫している。リニューアルと説明があったが再考いただきたい。

(町長) ①生産体制を整備していく必要があると思いますが、法人化にすることが一番大事なことだと思っています。基盤整備は補助金制度を活用し行ってもらいたいと思います。生産者と町が密接にやっていくことも大切だと思っています。

②公の施設の在り方については、取っ掛かりとしていろいろ考えながら取り組んでいきたいと思っています。

(総務課長) 公の施設の見直しについては、行政改革推進委員会で議論を今年始めました。今年度は音戯の郷について集中的に議論を行い、早期に結論を出したいと考えています。リニューアルについては、特定の施設ではなく全体的なことを言っており、存続するしないを含め抜本的な見直しについて検討していきます。

(平松課長) 茶業の協議会の構成メンバーについては、議事録公表時に公表します。

※川根本町農業農村振興対策委員会委員

農林業関係団体の役職員 4名、知識経験者 4名、農業委員会 2名、町農業関連会社 1名、町議会 1名 計 12名

(住民) 鳥獣害対策について、ニホンジカが増え茶園被害や二次被害として山ヒル・ダニも問題になっている。噂では猟友会が鹿を駆除することをためらっているとも聞いたが、関係先と連携し個体数を減らす対策をお願いしたい。

(総務課長) 来年度、農林課とも協議し、ニホンジカを捕獲した際の報奨金制度を工夫し、個体数を減らす対応をしていきたいと思います。

(住民) ①人口減少については、若者が町を離れる原因は何か。(原因を突き止めてもらいたい)

②お茶に変わる農作物(推進したい農作物)はあるか?

(町長) ①家庭の事情や仕事の関係等いろいろな要因があると思います。

②お茶に代わる農産物として「ゆず」があります。町農業経営振興会でもいろいろ取り組んでいたと思うが、今やっていることからヒントが出てくると思っています。

(住民) 火葬場整備について、お通夜もできる設備の整備もお願いしたい。

(町長) 検討していきます。

(住民) 塩郷地区と久野脇地区間の橋の整備を要望する。

(町長) 建設費は高額となり、町単独での対応は難しいです。国等への陳情など検討していきたいと思います。

(住民) 人口減少について、5年後・10年後の人口シミュレーションはしているのか。また、人口が3,000人台になった際の施策はどのように考えているか。

(町長) シミュレーションしたデータは持っています。本町に限らず多くの市町で過疎化に悩み人口対策を行っています。皆さんからもアイデアをもらいたいし、町としても呼び込む施策をしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

以上